



# 和歌山大学教育学部附属特別支援学校 (和附特)

【連絡先】 〒641-0031 和歌山市西小二里 2 丁目 5-18  
 TEL 073-444-1080 FAX 073-447-2597  
<http://www.pal.wakayama-u.ac.jp/>  
 【担当者】 井川勝利 (副校長)  
 e-mail ikawa@center.wakayama-u.ac.jp



**教育目標** 個々の児童生徒に応じた教育を行い、積極的に社会生活に参加できる人間を育成する。

## 1 研究

### 研究主題

知的障害のある子どもの学び続ける力を育てる教科学習  
 —伝え合い学び合いを大切にした授業づくりと子どもの変容—

### 学び続ける力

- ①活用・発展
- ②広げる・深める

伝え合い学び合う授業

他教科  
領域  
合わせた指導

### 国語科・算数(数学)科

小学部：ことば・かず  
 中学部：基礎学習  
 高等部：スタディ

### つながり

国語科・算数(数学)科で培った力を「生活」で検証する

### 「生活」

- ・生活力を育む授業
- ・一日を通した児童生徒主体の活動

## 2 和附特の魅力ある特長

### 交流および共同学習

交流および共同学習を通して、共に学び合い、互いに理解し合う中で、経験を広げたり、好ましい人間関係を築いたりできるようになることを目標に取り組みを行っている。

指標：本人と保護者の満足度、交流相手との親しみ度

(例)

#### 学校間交流

附属小学校、紀美野町立美里中学校

#### 地域校交流

近隣の和歌山市立小学校特別支援学級

#### 居住地校交流

児童の居住地の小学校

#### スポーツ大会での交流

県支援学校体育連盟ソフトボール大会、陸上競技大会

### ICT機器の活用

高等部では生徒全員がタブレットを購入し、教科学習等で活用している。小中学部においても普段の活動の中にタブレットを取り入れ、児童生徒が機器操作に慣れ親しむ取り組みを行っている。

また、教師がプレゼンテーションソフトを活用した教材提示をしたり、OHCを利用してモニターに大きく提示したりするなど、視覚支援のために機器を活用している。

指標：活用できる児童生徒と教員の割合

### キャリア教育

中学部からの現場実習などを通し、働く意義を理解するとともに、働く態度や姿勢、技能等を身につける取り組みを行っている。

また、職業生活を支える家庭生活や余暇生活の充実、自らが成長していくことへの期待や自己肯定感の向上など、ライフキャリアにも重点を置き、小学部低学年より、学内外での学習活動に取り組んでいる。

指標：働くことに関する意識、生活の充実度

### 高等部普通科総合産業コースの設置

#### 職業科

実習演習としての週 10 時間の「作業」と、年間 15 日を超える現場実習を通して、働くことの大切さと自己理解を推進し、仕事をする上での態度や技能を身につける。

#### セルフデザイン

青年期入口ゆえの心理的な課題のある生徒たちが自分の将来について目標を持つためのプログラムとして、よりよく自己実現していこうとする意欲など、内面を育てる。他者との関わり合いの中から自己を見つめ、自分らしい生き方を考える力を育む。

指標：一般就労率、生徒の自己肯定感

### 防災教育の充実

全校児童生徒を対象とした、地震や津波を想定した避難訓練に取り組んでいる。それとともに、学部や学級において、通学途中の避難場所の確認や防災非常食体験などの取り組みを行っている。

指標：防災に関する知識・理解度、行動力

## 3 地域の拠点校としての取り組み

### インクルーシブ教育の推進

平成 26 年度に文部科学省委託事業「インクルーシブ教育システム構築モデル地域事業」で培った成果をもとに近隣の小学校や附属小中学校の子どもへのサポート体制づくりの支援を実施している。



### センター的機能の一層の充実

地域で支援を行う教育・医療・療育・保健・行政・労働等の各機関との連携を密にし、相互に補完できるような情報提供・事例検討を行うサブ・ケアシステムの会の開催、公開講座や出前研修会の実施、巡回指導等を実施し、子どものライフステージにおいて途切れることのない支援を提供できるように努めている。